

持続可能な公共調達慣行の促進に向けた調査および指針の策定とその普及

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

SPP関連セミナー等参加者 **155人**

SPP関連セミナー等での報告 **10回**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **66%**



11/8 第4回SPPフォーラム

課題

持続可能な公共調達(SPP)の推進が遅れる日本の自治体の事態調査を行い、国内外のベストプラクティスを把握しながら、SPP実施のあり方を提案する。

目標

- ア) 持続可能な公共調達に取り組む自治体の数が増加する
- イ) 持続可能な公共調達に関する自治体の認識が向上する
- ウ) 持続可能な公共調達に関するネットワークを形成する

活動内容と成果

- 当会主催SPPフォーラム(東京)をはじめさまざまなイベント(東京3回、大阪、岡山、石川県白山市)にて、日本のSPPの現状、課題、展望について報告。参加総数約150人
- SPPの理解と取組み促進のためのガイドブック作成。自治体等関係者に約150冊送付。ウェブに英訳版も掲載
- 欧州SPPの取組みを学び連携の機会として、エコプロキュラ(オランダ)に参加し日本のSPPについて報告
- デンマーク人権研究所との連携を構築し、国連ビジネスと人権フォーラム(ジュネーブ)にて日本のSPPについて報告



3/24 白山市SDGs推進シンポジウム



10/4エコプロキュラ@オランダにて報告

全助成期間の活動を振り返って

本事業により、SPPを理解・促進するための調査報告書やガイドブックが発行され、SPPに関心を持つネットワークが国内外に形成され、社会におけるSPPへの認識はある程度高まったものと考えられる。SDGsや「ビジネスと人権」、東京2020調達コード等国内外の持続可能性に関する動きと、持続可能な地域づくりに関する取組みの双方の観点から、SPPについて議論し方向性を提示できたことには価値があったと考える。

活動地域 |  日本全域、オランダ

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18 アパコビル5階
電話：03-3202-8188
E-mail: office@csnj.org
https://www.csnj.org



今後の
展望

SPPを理解し推進のきっかけとしてもらえるよう作成した最終成果物『持続可能な地域社会のための公共調達ガイドブック～サステナブルな地域づくりと組織に求められる12の課題～』を活用して、地域経済循環における公共調達の役割を発信していきたい。2019年度から着手する「中小企業の持続可能性に関する事業」にも、地域のエコシステムにおける行政の役割等について本事業の知見をいかしていきたい。